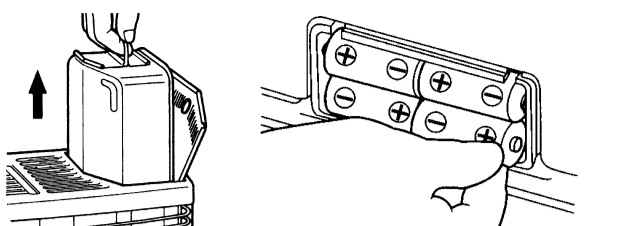
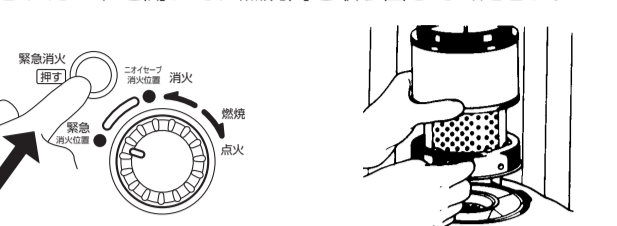


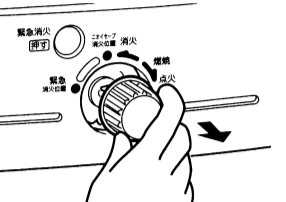
1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。



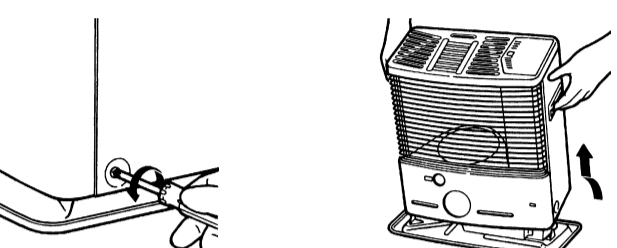
2 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を起動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



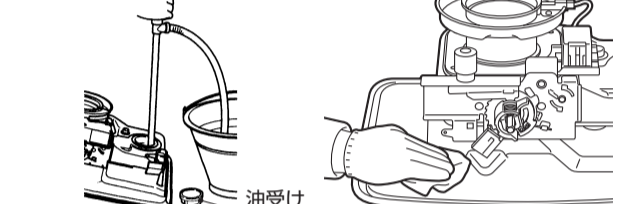
3 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。



4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



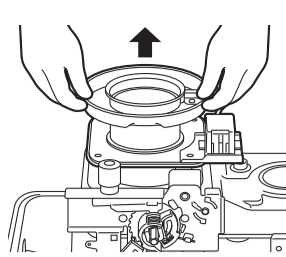
5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
 ●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
 ●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
 ●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



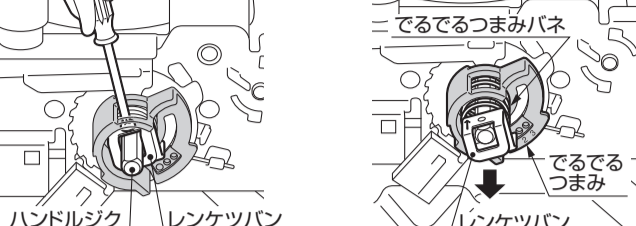
6 しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
 ●蝶ネットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



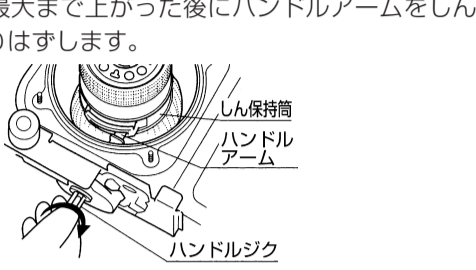
7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



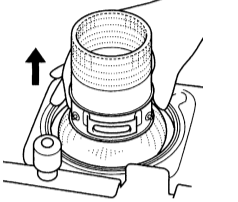
8 ハンドルジクに固定してあるレンケツパンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツパン、でるでるつまみパネ、でるでるつまみを順に取りはずします。



9 ハンドルジクを右方向(☺)に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。

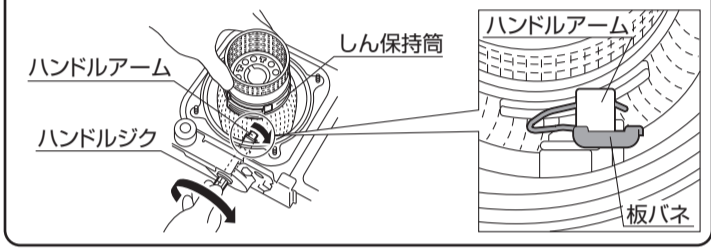


10 ハンドルジクを右に止まるまで回しきったまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。

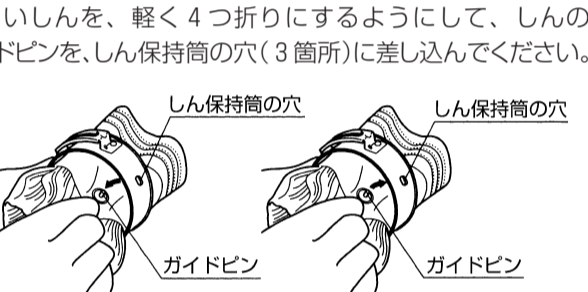


お願い

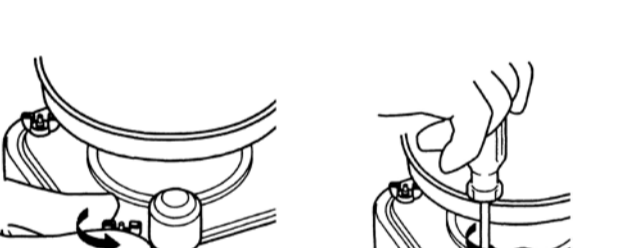
ハンドルアームに板パネが取り付けられている場合は、しん保持筒があたりないように注意してください。また、しん下部がパネにからまないようにも注意してください。



11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。

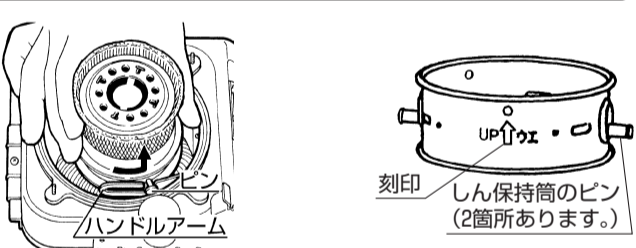


6 しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
 ●蝶ネットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピン(前後に2箇所あります。)を左(☺)に回して取りはずしてください。

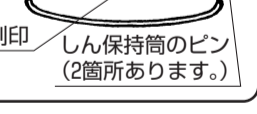
お願い
 抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。



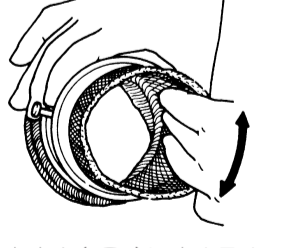
11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。



お願い
 しん保持筒には上下がありますので、刻印を確認して、間違えないようにしてください。

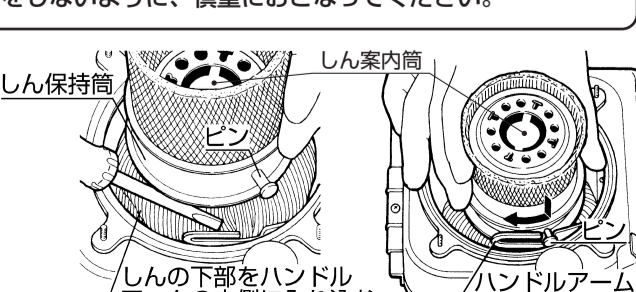


12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



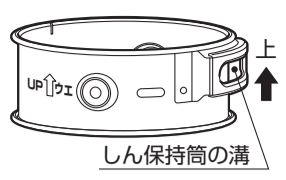
13 ハンドルジクを右方向(☺)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
 ハンドルアームの溝(前後2箇所)に、しん保持筒のピン(前後2箇所)を右(☺)に回してはめ込んでください。

お願い
 抜け止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

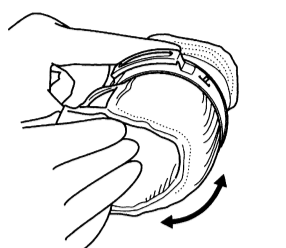


●しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込んでください。

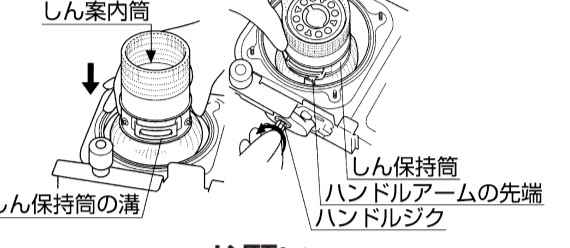
お願い
 しん保持筒には上下がありますので刻印を確認して間違えないようにしてください。



12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

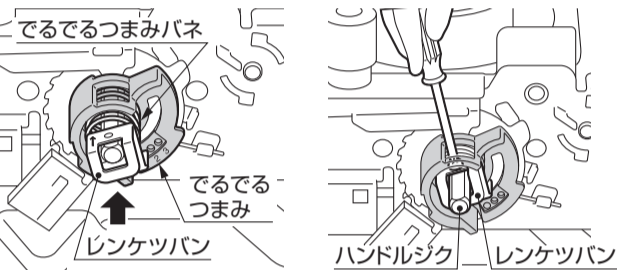


13 ハンドルジクを右方向(☺)に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
 ハンドルアームの溝(前後2箇所)に、しん保持筒のピン(前後2箇所)を右(☺)に回してはめ込んでください。

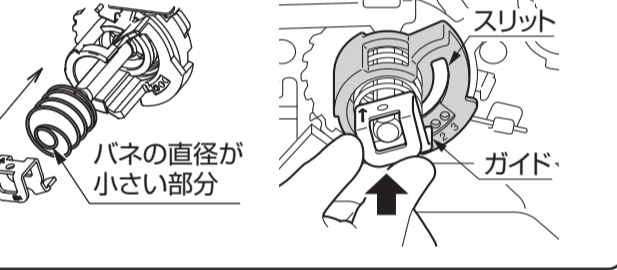


お願い
 ハンドルアームに板パネが取り付けられている場合は、取りはずす時と同様にしん保持筒としん下部に注意してください。

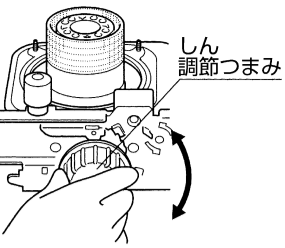
14 でるでるつまみ、でるでるつまみパネを組み付けてから、レンケツパンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツパンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。
 ●でるでるつまみは「1」の位置にセットしてください。



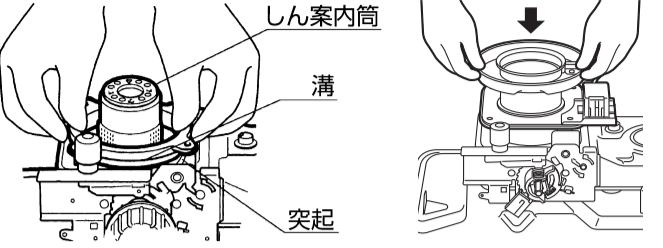
お願い
 レンケツパンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。



15 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動くか確認してください。



16 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にがぶせてください。

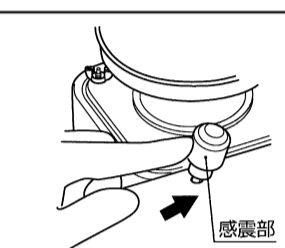


17 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、6ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ネット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。
 片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
 しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
 ●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。

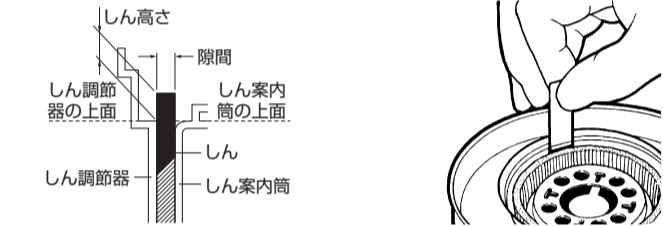


18 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2〜3回確認してください。

お願い
 しんの上下がスムーズでない場合は、7ページ12項からやり直してください。



19 しんの高さは、でるでるつまみを①の位置にして、いっぱい上げたとき約9mmです。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。

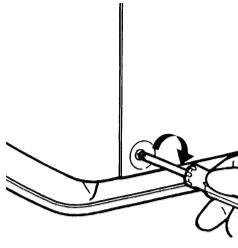


●しん先端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。

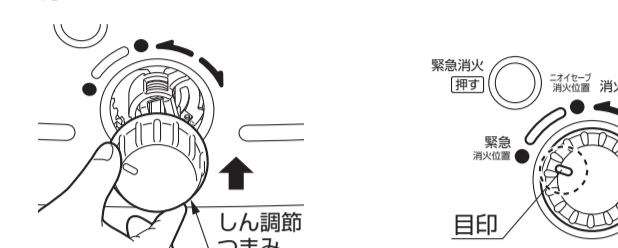
20 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとがぶせてください。



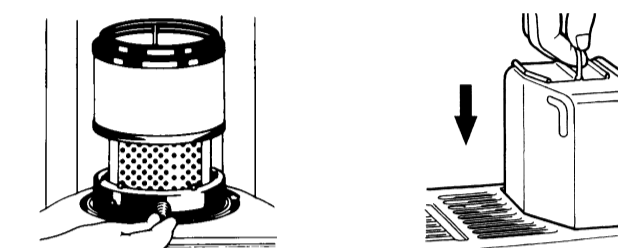
21 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。



22 しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



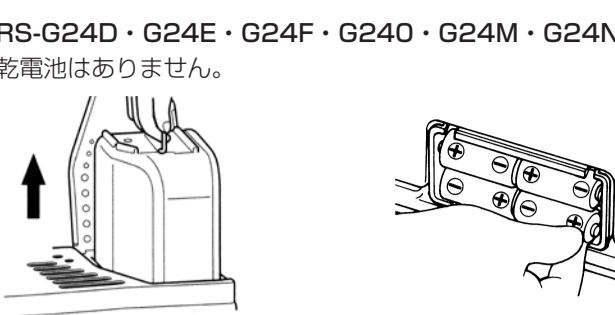
23 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



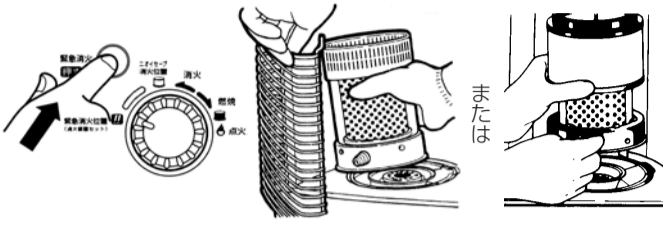
24 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。



1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
 ■RS-G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24Nは乾電池がありません。



2 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



3 しん調節つまみを引き抜いてください。

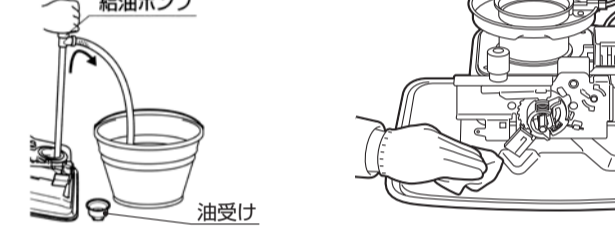


■RS-G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24Nは「くるんPa」のハンドルを引き出し、手でハンドルが回らないよう固定して中央の止めねじを取り、「くるんPa」のハンドルを引き抜いてください。

4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
 ●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
 ●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
 ●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。

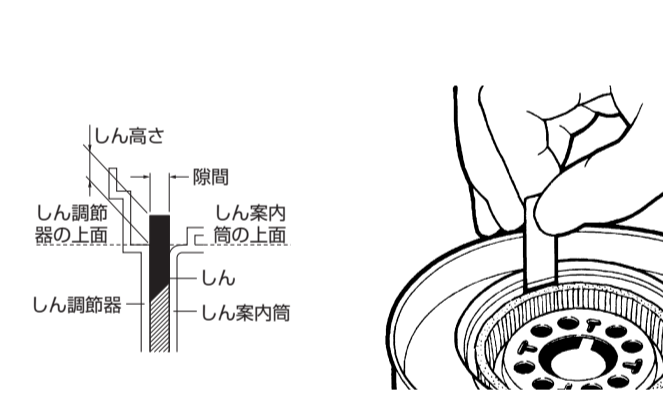


23 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

■RS-G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24Nで点火しにくい場合は、点火プラグの先端の位置をもう一度確認してから、再度しんを上げて点火してください。

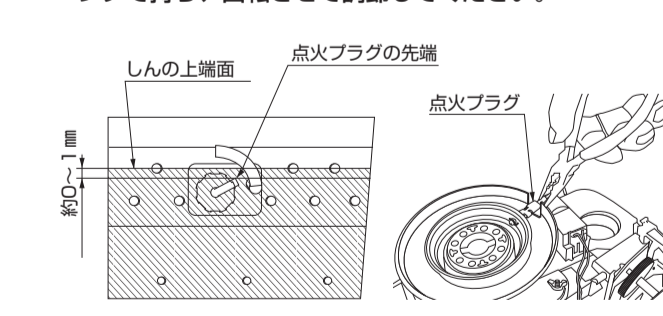


18 しんの高さは、下記の「各型式のしんの高さ」を参照してください。(でるでるつまみが付いている機種はでるでるつまみが①の時のしんの高さです。)しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。



●しん先端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。
 ●10ページの15項と同様に、アームを指で押し下げた状態で確認してください。
 しんを上げた状態にしたら、しん調節つまみを持っている手をゆっくりと離して、しんの高さ確認してください。
 ■RS-G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24Nの場合は、しんを上げた状態で、点火プラグの先端が、しんの上端面よりも、約0〜1mm下に位置している事を確認してください。
 点火プラグの先端の位置が低すぎたり高すぎる場合は、下記の様に調整してください。

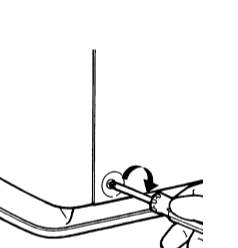
点火プラグ先端の位置調整方法 (※G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24N)
 点火プラグリード線の白い部分(ガイシ)を手やラジオペンチで持ち、回転させて調整してください。



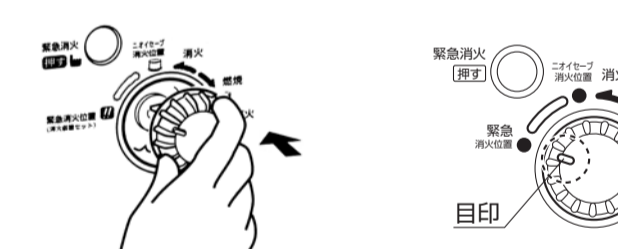
19 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとがぶせてください。



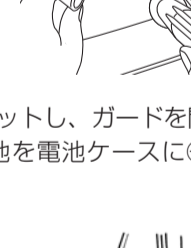
20 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。



21 しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



■RS-G24D・G24E・G24F・G240・G24M・G24Nは手で「くるんPa」のハンドルを持ってねじて「くるんPa」のハンドルを取り付けてください。



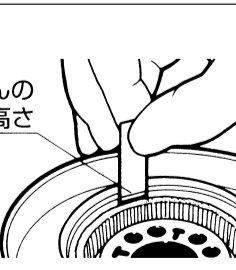
22 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



各型式のしんの高さ

型 式	しん高さ
RS-235・237・D234・D235・23, BRS-D235-23, CS-D235-D236-D237 HRS-235D-23・237, NRS-D234-D235-D23E2-23E3-23E4	7.5mm
RS-233-223・L237E-S234-S236-S230-S230-S236-S23F-S240-S240-G24E-G24F-G240-G24M-G24N, G23-23N, NRS-233V6-S236F-S236B-S23E1-S23E2-S231-SE3-S231-RE4-S231-7E5-S231-BE6- S231-9E7-S2321E9-S232E2-S232E3, NT-21, KS-121, HRS-121, BRS-210, RSK-233, TP-23, OPS-21, CS-S23A- S23B-S230-S230, AS-S23B-S23C-2300-2301, RSV-2300-230-230, RSV-23-230-230, AH-2300, RSM-230-231	8mm
RC-D284E-D285E-D287E-D288E, NRC-D28F3-D28E4-D28E5-S28E9-S28E9-S28E1-S28E2- S281-5E3-S281-1E4-S281-7E5-S281-1E6E-S281-9E7-S2821E9-S282E2E2-S282E3E3, NT-S28D-S28G-S28Q, RS-D238E-D239E, CS-D238E-D239E, NRS-D23E6, PA-239, RC-S28A-S28B-S28C-S28D-S28E-S28F-S28G-S28H-S28M-S28N	9mm
RS-D295-D297-D287E, YRS-D297	10mm

■しん高さ確認のしかた
 ●下の、しん高さ確認ゲージを使用して、しんが規定の高さに均一に揃っていることを確認してください。



■しん高さ確認ゲージ
 しんの高さを測るときは下図を破線の部分で切り取ってください。

